

授業概要

経済学に関する予備知識は、一般にほとんどないと思われるので、何よりも、経済とは何か、経済学とはどのような学問なのかについてのイメージを持てるようにしたい。経済学の歴史と理論と現実問題について基本的な理論と知識を講義する。この授業によって、経済学的な物の考え方を習得し、経済関連のニュースに関心を持てるようにすることを目標に講義を行いたい。

授業計画

第1回	経済とは何か
第2回	経済学の歴史（1）－重商主義
第3回	経済学の歴史（2）－アダム・スミスの経済思想
第4回	経済学の歴史（3）－古典派経済学の展開
第5回	貨幣の理論（1）－貨幣の機能
第6回	貨幣の理論（2）－貨幣数量説
第7回	経済の基本的法則（1）－需要と供給
第8回	経済の基本的法則（2）－労働と価値
第9回	経済の基本的法則（3）－利潤
第10回	資本主義の生成
第11回	資本主義の発展
第12回	国際経済体制
第13回	国際通貨体制
第14回	バブルとその崩壊
第15回	経済学の諸問題
第16回	定期試験

到達目標

経済学の歴史、理論、現状についての基本的な知識を習得すること。

履修上の注意

講義ノートを中心に学習すること。
経済関係の時事問題に関心を持つこと。

予習復習

ノートを読み直して整理すること。

評価方法

定期試験のほかに中間試験を課す。定期試験 60%、中間試験 40%の配分で評価する。ただし、変更する場合もある。

テキスト

授業中に参考文献を指示する。